

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表:令和 6年 8月 1日

※令和6年4月26日回収

事業所名 なごやかな森横尾

保護者等数(児童数)25名 回収数23名 割合92%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23				広いスペースです。	制作活動及び個室と運動スペースを備えています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	23				専門職がいる。	PT、OT、STと5年経験以上の保育士を配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	23				ホワイトボードに児童がわかりやすく、1日のスケジュールを掲載している。	文字だけでなく、絵やピクトグラムを利用したり、タイムタイマーを活用し情報伝達に配慮しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	23				とてもきれいで清潔感がある。	感染症対策を念頭に常に清潔な生活空間を提供しています。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	23				詳しく計画してくれている。	お子さんや保護者のニーズや課題に応じ、適切な計画となるよう努めています。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	23				常に子どもと向き合い、面談を通して詳しく計画の説明を受けています。	児童発達支援ガイドラインに則して、お子さんやご家庭の状況に応じて具体的に支援が提供できるよう支援内容の見直しに努めています。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	23				お陰様で支援が結果につながっています。	同上
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	23				様々な活動に遊びを取り入れたプログラムで子どもが楽しそうです。	活動プログラムは、お子さんの課題に応じて、月案、週案によって工夫しています。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	15	3		5	新施設なので、今後期待します。	同法人内のこども園等からの通所児童が多く、あらためて他法人通所児童を含め検討していきます。
保護者 への 説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23				利用契約時、説明がありました。	今後も丁寧な説明に努めます。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	23				利用契約時、しっかり説明がありました。	今後も丁寧な説明に努めます。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	16	4	1	2	毎週、動画や写真で支援の様子を伝えてくれますが、家庭では機会が少ないです。	今後、ご家庭でできるトレーニングなど専門職からのご提案ができるよう検討いたします。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 ができていますか	23				モニタリング等の 機会やアプリ、電 話などで行ってい ます。	今後もタイムリーな共通 理解に心がけていきま す。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に 関する助言等の支援が行われているか	22			1	適宜、面談等があ るので安心してい ます。	今後も相談や面談がし やすい環境を提供して いきます。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援されて いるか	6	3	4	9	・新施設なので、ど ちらともいえません。 ・最近通所したので わかりません。 ・保護者同士の連携 を今のところ必要と 感じていません。	現在、具体的に保護者 会等の組織ありませ んが、必要があるか ないか、保護者様にご 意見を伺って参ります。	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、 対応の体制が整備されているとともに、子ども や保護者に周知・説明され、相談や申入れを した際に迅速かつ適切に対応されているか	23				安心して相談でき ます。	今後も相談や面談がし やすい環境を提供して いきます。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の ための配慮がなされているか	23				・とても丁寧です。 ・LINE伝達がとて も便利で満足して います。	今後も情報伝達がしや すい環境を提供して いきます。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要 や行事予定、連絡体制等の情報や業務に 関する自己評価の結果を子どもや保護者に 対して発信されているか	16	1			6	ブログで活動の様 子をチェックしてい ます。	新設なので今回が始め ての自己評価となりま す。今後も適切な情報 発信に努めていきます。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	23					問題ありません。	個人情報の取り扱いに ついては、特段の配慮 に努めてまいります。
非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・ 説明されているか。また、発生を想定した訓練 が実施されているか	15	3			5	利用契約時、説明 がありました。	非常時の対応について は、マニュアルに則し、 適切に対処して参りま す。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出、その他必要な訓練が行われているか	12	2			9		定期的な避難訓練等の 実施については、その 状況について、適時情 報提供いたします。
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	22	1			・毎回楽しみにして いるので、安心して 通わせていま す。 ・とても楽しみにし ています。	今後も、お子さんが楽し く通所できるよう工夫 して参ります。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	23				・大満足です。いつ もありがとうございます。 ・個人を尊重して いただけ大変あり がたいです。	今後も保護者様等のご 意見ご要望を伺いな がら、安心して満足して いただける事業所運営 に精進して参ります。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和 6 年 8 月 1日

事業所名 なごやかな森横尾

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境 ・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		個室訓練室及び静養室を完備している。	活動状況に応じて、机、教具棚等の配置を定期的に変更しています。
	②	職員の配置数は適切である	○		専門職を複数人配置している。	専門職の個別支援回数を増やせるよう検討します。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・チャイム式タイマーを使用 と絵カードを使用した視覚的支援を行っている。	活動や訓練時の動きを動線化し、児童が安全で安心して動けるよう環境構成について、スタッフ間で共通理解を図っている。また、環境構成については、定期的に見直しを行います。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の消毒と清掃(朝夕2回)を徹底している。	特に感染症流行時には、訓練室、教具等の消毒を徹底する。
業務 改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		職員、保育士、専門職の各会議を実施	共通理解ノートを作成し、課題等を提起している。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		開所後、1年以内に実施。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		職員会議等で周知し、公表する。	令和6年8月公開予定。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		未実施。3年に1回実施予定。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		職員会議時、研修を併せて実施。	外部研修においても、参加できるよう機会を確保していきます。
適切 な 支 援 の 提 供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		毎月、月案にて課題目標を設定している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメントを実施している	別途、専門職による評価を適宜、実施していきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		新様式を利用した、5領域を記載した計画書を作成している。	特に家族支援等、もっと何ができるか検討していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		専門職が個別支援を実践している。	専門職の個別支援回数を増やせるよう検討します。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月案、週案を作成している。	興味や取り組みやすいプログラムとなるよう配慮していきます。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		会議にて案を作成している。	年齢や困りの課題に応じた編成に配慮していきます。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別支援と集団活動の担当職員を分掌している。	週案で予め担当職員を計画配置しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		活動前に職員間で内容確認を行っています。	週案で予め担当職員を計画配置しています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		記録による振り返りと共通理解ノートの記録を行っています。	課題等の改善点は、全職員に共有していきます。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録による振り返りと共通理解ノートの記録を行っています。	課題等の改善点は、全職員に共有していきます。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		支援記録や専門職の評価により判断しています。	適宜、見直しを行っていきます。	
	関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管、児童指導員、専門職が参加しています。	適宜、登園しているこども園等の保育士が参加できるよう配慮しています。
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		適時、連携しています。	
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		必要があれば、適時連携しています。		
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		必要があれば、適時連絡しています。		
㉕		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要があれば、適時情報共有と相互理解を図ります。		
㉖		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要があれば、適時情報共有と相互理解を図ります。		
㉗		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		適時、連携し助言等を受けています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		同法人内のこども園等で機会があります。	
	㉑	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		今後、参加できるか、参加するならばどのように参加するかなどあり方を検討します。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡アプリやLINE、電話等で共通理解を行っています	
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		ニーズがあれば、専門職から適時支援しています。	
保護者への説明責任等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時、丁寧に説明しています。	
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		説明を行い、同意をいただいています。	
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		連絡アプリ等を利用し適時支援しています。	
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者様からのニーズがありません。	ニーズがあれば、そのあり方について、検討していきます。
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情解決等の受付担当者を選任し相談体制を整えており、重要事項説明書に明記しています。	
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		連絡アプリを利用して、今後「なごやかな森だより」を発行予定。
	㉚	個人情報の取扱いに十分注意している	○		法人規程により、常時留意している。	
	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		コミュニケーションを大切にし、配慮しています。	ご希望があれば、意思表示や意見伝達などの方法を配慮します。
	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		第三者委員が自治会長のため、相互理解を図っています。	
非常時	㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアル策定済ですが、机上訓練のみとなっています。	今後は、マニュアルに則した想定訓練ができるよう検討していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
等 の 対 応	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っている	○		非常災害時 避難訓練を実 施していま す。	今後は、あらゆる非常災害を想定して訓 練を実施していきます。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の こどもの状況を確認している	○		アセスメント 時必ず確認し ている。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている	○		アセスメント 時必ず確認し ているが給食 の提供はあり ません。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有 している	○		作成して、全 職員で共有し ている。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしている	○		研修及び虐 待防止チェッ クを実施して います。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し了解を得た上で、児童 発達支援計画に記載している		○	現在、対象児 童いません。	対象児童がいる場合は、個別支援計画に 明示し、身体拘束時は記録し、軽減対策 を組織的に委員会で適時検証する。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。